

こがねい 市議会だより

平成27年
第4回定例会
第250号

平成28年(2016年)
2月9日発行

発行／小金井市議会

編集／広報協議会

小金井市ホームページアドレス

〒184-8504 小金井市本町六丁目6番3号

TEL(042)387-9947(直通) FAX(042)387-1225

<http://www.city.koganei.lg.jp/>



小金井宮地楽器ホールで行われた成人の日記念行事(1月11日開催)

一般会計補正予算(第6回)を 全会一致で可決

稲葉市長が退任、西岡市長が就任

第4回定例会の概要

平成27年第4回定例会(篠原ひろし議長)は、平成27年11月2日に開会し、24日に閉会しました。なお、小金井市長選挙に立候補するため、10月31日付けで、白井亨議員、五十嵐京子議員が辞職したため、今定例会は2人欠員(定数24人)で審議を行いました。

平成27年度一般会計補正予算(第6回)を全会一致で可決

この補正予算は、国の地域活性化・地域住民生活等緊急支交代付金(地方創生先行型)の制度改正による上乗せ交付金を組み替えて活用するものです。

またなか観光促進のためのイベント実施・スマートフォンアプリの作成、市イメージキャラクター「こきんちゃん」着ぐるみの作成・改良、子育て家庭やひとり親家庭支援のための冊子やマップ等の作成に関する予算などのほか、ほんちよう学童保育所を本町小学校内に暫定的に開設するに当たり、債務負担行為として空調設備を整備するための予算が計上されました。

これにより、一般会計予算は1千万円の増額となり、補正後の歳入歳出予算総額は、396億3千27万6千円となりました。本件は11月24日の本会議において上程し、委員会付託を省略し、同日に全会一致で可決しました。

稲葉市長在任中の最後の定例会

今回の定例会は、稲葉孝彦市長(平成11年に初当選)が在任する最後の定例会でした。一般質問では、今までの市政の総括や、後継者の育成などの質問が多く見られたほか、関連する陳情書も提出され、審議を行いました。また、定例会最終日(11月24日)の本会議の最後には、稲葉市長から挨拶がありました。

第1回臨時会の概要

平成28年第1回臨時会(篠原ひろし議長)は、1月22日に開会し、2月2日に閉会しました。この臨時会は、平成27年12月13日に行われた小金井市長選挙及び小金井市議会議員補欠選挙後、初めて開催された議会です。

冒頭、西岡真一郎市長の就任挨拶が行われ、その後委員会等の委員構成を一部変更しました。また、市長から、さわらび学童保育所の運営を新たな民間事業者に委託するための経費を計上した、平成27年度一般会計補正予算(第7回)が提出されました。

この補正予算は1月22日に上程しましたが、同日中に審議が終了せず、2月2日まで会期を延長しました。2月2日の本会議では、市長から撤回の申出があり、これを承認しました。

小金井市議会議員補欠選挙後の議会構成や全議員の連絡先等は8面に掲載しています

平成27年第4回定例会日誌

- 〔11月〕
- 2日 本会議(会期の決定等)
- 4日 本会議(議案の審議・委員会付託、議員提出議案の審議・採決)
- 5日 本会議(一般質問)
- 9日 本会議(一般質問、議案の審議・委員会付託、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託)
- 10日 厚生文教委員会
- 11日 建設環境委員会
- 12日 総務企画委員会
- 13日 議会運営委員会
- 16日 行財政改革調査特別委員会
- 17日 予算特別委員会
- 18日 資源循環型社会推進調査特別委員会
- 19日 厚生文教委員会
- 建設環境委員会
- 総務企画委員会
- 議会運営委員会
- 24日 本会議(委員会付託案件の採決、議案の審議・採決、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託)
- 平成28年第1回臨時会日誌
- 〔1月〕
- 22日 本会議(議案の審議、議員提出議案の審議・採決、会期の延長)
- 23日 本会議(会期の延長)
- 〔2月〕
- 2日 本会議(議案の審議・撤回)

日曜議会を開催します

平日に傍聴へ来られない方にも議会の様子を知っていただくため、日曜議会を開催します。当日は、各議員が市長の施政方針に対する質疑を行いますので、ぜひ、お越しください。

日時 2月28日(日) 午前10時から
場所 議場(市役所本庁舎4階)
その他 手話通訳を行います。

市議会の本会議・委員会等はユーチューブ及びユーチューブで配信しています。

○USTREAM
○Youtube

(<http://www.ustream.tv/channel/koganeishigikai>)
(<https://www.youtube.com/user/koganeishigikai>)

審議した主な議案

平成27年度一般会計補正予算(第5回)

11月4日の本会議において予算特別委員会(田頭祐子委員長)に付託し、11月17日の委員会審査を行いました。

歳出予算の主な内容は、庁舎など市の施設の電気料金不足に対応するための経費(千981万2千円)、個人番号カード交付用顔認証システム機器の借上げに伴う「住民基本台帳事務に要する経費」(2万1千円)、中間処理場の老朽化に伴い施設の状態を調査するための「中間処理場基礎調査委託料」(583万2千円)、公民館の本館機能(事務室等)を本町分館に移転するための「事務所移転作業委託料」(80万円)ほか、債務負担行為補正として、平成27、28年度にわたって設定された「福祉会館解体設計委託料」(543万8千円)などです。

11月24日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

反対討論(要旨)

林 倫子(生活者ネット)

今回の補正予算は、諸手当や給付、民間保育所等の運営経費の増額などが主であり、そこは評価できる。しかし、専門家から人権侵害の可能性が指摘されている「個人番号カード交付用顔認証システム機器」等借上料を含んでいる。これは市民にも自治体にも不合理なシステムであり、賛成できない。

直接、市民と関わり合う自治体は、国の押しつけから市民を

守る役割があるはずである。必要な手続きは行わないように求める。

賛成討論(要旨)

中山克己(自民党小金井)

平成28年開設の保育園2園の改修費や賃借料補助、保育士処遇改善や保育サービス向上の補助等、待機児童解消や保育関係児童への手当等の充実を高く評価する。対象者増に伴う特別障害者手当や難病者福祉手当の各種手当、自立支援医療・更生医療給付、介護給付等、障がいのある方に寄り添った点も高く評価できる。ほかにも、保健衛生に要する経費の充実、児童発達支援センター指定管理委託料も指定管理の利点を生かしたサービス向上が期待でき、賛成する。

賛成討論(要旨)

水上洋志(日本共産党)

福祉会館の解体費用や保育園増設などに関する予算など、市民生活に必要な予算が計上されており、反対するものではない。

しかし、マイナンバー制度に伴う個人番号カード発行の際の顔認証システム導入については、マイナンバー制度の凍結・中止を求める立場から、利用者の意思やプライバシー保護に最大限配慮することや、情報漏えいがないよう、慎重な運用を求める。また、福祉会館の閉館にあたって、代替施設を万全にすることを強く要望する。

賛成討論(要旨)

渡辺ふき子(公明党)

賛成の理由の1番目は、新福祉会館の早期完成に向け、福祉会館解体設計委託料の債務負担

行為補正が組まれていること。2番目は、本年開始の子ども・子育て支援新制度を進めるため、都や国の補助金を使って保育所の新設や保育士の処遇改善を図るなど、保育環境を整備し、サービス拡大の予算が計上されていること。3番目は、難病医療給付、障がいの自立支援医療給付の拡大や、高齢者の健康を守るインフルエンザ等の予防接種費の増額が図られていること。

なお、委員会での審査において、9月10日に一旦採決し、原案のとおり可決すべきものと決定しましたが、改めて審査すべき事情が判明したため、9月18日に再審査(委員会再度審査しなすこと)と決定しました。このため、今定例会中も引き続き審査を行いました。

賛成討論(要旨)

露口哲治(小金井自民)

光熱水費の不足が見込まれ、全体で約2千万円の増額補正となっている。これは平成25年度決算額に対して、画一的に一律10%減の額で平成27年度当初予算として計上したこと、さらに121件中21件の補正増であったことを考慮すれば、特段の問題はない。歳入で財政調整基金3.5億円の取り崩しが気になるところだが、本来12月議会であったならば、緩やかな景気回復に伴う税収増も期待できたと考えられ、当然の措置といえる。よって本補正予算には賛成する。

認可外保育室等入所児童保護者助成金の交付に関する条例(議員提案)

3月25日の本会議において厚生文教委員会(渡辺ふき子委員長)に付託し、6月12日、8月24日、9月10日、18日、11月10日、19日の計6回にわたり審査を行いました。

本条例は、認証保育所等に在籍する乳幼児の保護者に対して、所得段階に応じた助成金を交付することで格差是正に取り組み、児童の健全な育成に寄与することを目的として、議員から提案

しました。

市民から提出された陳情書の採択を受け、議員提案により委員会が半年の間議論されてきた本条例案が厚生文教委員会可決されると、市長から「予算的に実現できない」と発言があった。議会に対し不誠実である。また、市によって見積もられた予算も過剰であり、本条例案はこのままでも実現可能である。

賛成討論(要旨)

関根優司(日本共産党)

「保育料を上げて格差を是正する」と市長は言うが、子育て世帯の経済的負担の軽減こそ求められている。本条例は速やかに可決すべきである。

反対討論(要旨)

岸田正義(市議会民主党)

認可保育所と認可外保育所の公的補助の格差は正や多子軽減策の必要性は大いに認めるが、この問題は保育施策全体を見据えた広い視野の中で考慮すべき。また、条例案細部に不確定な点が多く、8千764万円と多額な財源の裏付けもなく実効性に疑問がある。多摩26市ではこれを要綱で定めているため条例の必要性に疑問があるが、それは、この問題を認識しながらも議論を行わず、先送りしてきた市の対応が原因である。早急に市の責任で取り組むよう強く要望する。

議案の審議結果

議案の審議結果	【会派略称】													議決結果				
	自	民	共	公	公	公	民	民	リ	リ	ネ	ネ	緑		緑	改	会	小
平成27年度小金井市一般会計補正予算(第5回)	予	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市個人番号の利用並びに特定個人情報の利用及び提供に関する条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
東京都公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成27年度小金井市一般会計補正予算(第6回)	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市議会運営委員会条例の一部を改正する条例(議員提案)	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
小金井市児童発達支援センターの指定管理者の指定について	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
小金井市障害者福祉センターの指定管理者の指定について	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
小金井市立本町高齢者在宅サービスセンターの指定管理者の指定について	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
武蔵小金井南第2自転車駐車場外12施設の指定管理者の指定について	建	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
小金井市長の在任の期数に関する条例の訂正(議員提案)	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
小金井市認可外保育室等入所児童保護者助成金の交付に関する条例(議員提案)	厚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否決
小金井市議会運営委員会条例の一部を改正する条例(議員提案)	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成27年度小金井市一般会計補正予算(第7回)の撤回	即	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認

※ 吹春やすたか議員と坂井えつ子議員については、選挙後となる第1回臨時会のみ賛否を掲載しています。

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。

意見書・決議の審議結果

※可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。

【会派略称】 自：自由民主党小金井市議団 共：日本共産党小金井市議団
 公：小金井市議会公明党 民：小金井市議会民主党 リ：リベラル保守の会
 ネ：生活者ネットワーク 改：改革連合 緑：緑・市民自治こがねい
 会：こがねい市民会議 小：小金井自由民主

○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長(原則、採決には加わらず)

自	自	自	自	共	共	共	共	公	公	公	公	民	民	リ	リ	ネ	ネ	改	緑	会	小
中山	湯沢	中根	遠藤	水上	関根	板倉	森戸	渡辺	小林	紀	宮下	鈴木	岸田	百瀬	渡辺	田頭	林	篠原	片山	齋藤	露口
克己	綾子	三枝	百合子	洋志	優司	真也	洋子	ふき子	正樹	由紀子	誠	成夫	正義	和浩	大三	祐子	倫子	ひろし	薫	康夫	哲治

議 決 結 果

件 名	要 旨 (提案議員が作成)	自	自	自	自	共	共	共	共	公	公	公	公	民	民	リ	リ	ネ	ネ	改	緑	会	小
TPP (環太平洋連携協定) 交渉の内容について直ちに臨時国会を開催し、審議することを求める意見書	TPP (環太平洋連携協定) は、「大筋で合意」されたとしている。TPPは、農産物や医療、労働、環境など、まさに国の在り方に関わる問題である。農産物は「国会決議」にも反するものと言わざるを得ない。その内容に不安の声が広がっており、国民に説明するためにも臨時国会を直ちに開催し、審議することを求める。	△	△	△	△	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	△
マイナンバー制度の円滑な運営に係る財源確保等自治体の負担軽減を求める意見書	市町村の個人番号カード等交付事務に係る経費は、本来全額が国庫負担であるべきところ、補助金の上限額は低く、市町村は財源負担を強いられている。平成28年度以降も、地方公共団体情報システム機構に支払う交付金の全額を国の負担とし、事務処理等への予算措置、必要な情報提供、研修会の開催等、十分な支援を国に求める。	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	議	×	○	○
マンション工事データ偽装問題の原因究明と再発防止策の確立を求める意見書	マンションの杭打ち工事データの改ざんやデータ流出問題に対して全容説明を行うとともに、発注主から建設工事施工事業者の末端に至るまで法令遵守の徹底を図ること、データ改ざんなどの不正を許さず、安全を最優先する法制度へと現行法の抜本改正を行うなど再発防止策を確立することを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
介護報酬の引上げを求める意見書	国が介護報酬を改定し、事業者の受け取る報酬を大幅に減らしたため、全国で介護施設の閉鎖が続いている。安倍首相は介護離職者ゼロを掲げたが、介護報酬引下げは離職者を増やす。今後の急速な高齢化に備え、介護報酬引下げではなく介護を充実させることが必要であるため、介護報酬を元に戻すとともに更なる引上げを求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×
幼児教育の無償化に向けて、国の補助金の増額を求める意見書	国は、幼児期の教育が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものとして、全ての子どもに質の高い幼児教育を保障するため、幼児教育の無償化に取り組むことを決定した。幼児教育の無償化は、幼稚園のみならず保育園も含めて対象となる。認可外保育室も対象に含め、区市町村の財政負担を軽減する対応を行うことを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○
小中学校の教職員削減の方針撤回と全ての子どもの学習権の保障を求める意見書	財務省は、教職員を約3万7千人削減するよう求める方針を示した。子どもの健やかな成長のために今必要なのは、どの子も等しくその能力に応じて学ぶことができる場を地域の中に作っていくことである。子どもの実態、現場の実情を無視した無責任な暴論と言わざるを得ない。よって、方針撤回と教育環境の充実を強く求める。	△	△	△	△	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	議	○	○	△
骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書	骨髄バンク事業では、骨髄等の提供に際しての検査等に必要ドナー側の負担軽減に関して、様々な取組が行われている。しかし現在、ドナーが検査等で病院に向かう等で仕事を休業した場合の補償は行われていない。ドナーが安心して骨髄等を多くの患者に提供できる仕組みづくりを早急に構築することを求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○

- ▽ 建設環境委員会
 - ▽ 駅周辺の開発・整備に係る諸問題の調査
 - ▽ 小金井市の環境政策推進に係る諸問題の調査
- ▽ 厚生文教委員会
 - ▽ 2025年問題に向けての地域包括ケアシステム構築に関する諸問題の調査
 - ▽ 子どもに関する諸問題の調査

所管事務調査を行っています

常任委員会では、本会議で付託された議案や請願・陳情の審査のほか、委員会の所管に属する市の事務を独自に調査する「所管事務調査」を行う権限があります。

厚生文教委員会では平成27年第2回定例会に、建設環境委員会では第4回定例会に、次の所管事務調査を立ち上げ、それぞれ平成29年3月まで継続して調査を行うこととしています。

反対討論(要旨)

紀 由紀子 (公明党)

要介護者がサービスを受ける際の自己負担額は、全体の1割(または2割)で、残りは税金と40歳以上の方が払う介護保険料で賄われている。介護報酬引下げの目的は、要介護者の自己負担軽減と介護職員給与1万2千円の引上げなど、処遇改善加算の財源確保のためである。改定後の介護施設の廃止・休止件数も正確な根拠はない。改定後、自己負担額は年間3千円程度の軽減となった。直ちに元に戻し、更に引き上げることで処遇改善の見通しもなく、賛成できない。

介護報酬の引上げを求める意見書

引き続き審査する案件

- 総務企画委員会**
 - ▶ 小金井市長の在任の期数に関する条例
 - ▶ 第二庁舎の取得に関する陳情書
 - ▶ 第二庁舎を地主から買い取らないことを求める陳情書
 - ▶ 東部地域への市政センターの設置を求める陳情書
 - ▶ 財政援助団体の適正な運営の確保に関する陳情書
 - ▶ 新入職員を消防団に研修配属することを求める陳情書
- 厚生文教委員会**
 - ▶ 福祉売店「りんくの店」に関する陳情書
 - ▶ 所管事務調査 (2025年問題に向けての地域包括ケアシステム構築に関する諸問題の調査)
 - ▶ 所管事務調査 (子どもに関する諸問題の調査)

- 建設環境委員会**
 - ▶ 小金井市道路行政の正常化を求める陳情書 (2)
 - ▶ 小金井市道路行政の正常化を求める陳情書 (3)
 - ▶ 所管事務調査 (駅周辺の開発・整備に係る諸問題の調査)
 - ▶ 所管事務調査 (小金井市の環境政策推進に係る諸問題の調査)
- 議会運営委員会**
 - 2月12日 (金) 午前10時
 - 2月17日 (水) 午後2時
 - ▶ 小金井市議会事務局職員数及び市議会議員定数の削減に関する陳情書
 - ▶ 小金井市議会における審議時間、資料要求数の削減に関する陳情書
 - ▶ 教育長の選任同意にあたって、採決前に、候補者の考えを確認すること等を求める陳情書

- ▶ 議会改革に関する諸問題の調査
- ▶ ①次期定例会 (臨時会を含む。) の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査
- ▶ ②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査
- ▶ ③議会運営に関する議長の諮問事項について
- 行財政改革調査特別委員会**
 - ▶ 行財政改革に係る諸問題の調査
- 資源循環型社会推進調査特別委員会**
 - ▶ 廃棄物の3R (リデュース=発生抑制・リユース=再利用・リサイクル=再生利用) を推進し、循環型社会を構築するための調査

一 般 質 問

(4面~6面)
11月5日、9日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

会派の略称

(自民党小金井)	自由民主党小金井市議団
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団
(公明党)	小金井市議会公明党
(市議会民主党)	小金井市議会民主党
(リベラル保守)	リベラル保守の会
(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(改革連合)	改革連合
(緑・市民自治)	緑・市民自治こがねい
(市民会議)	こがねい市民会議
(小金井自民)	小金井自由民主

市政の安定継続の 必要性について

中山克己(自民党小金井)

稲葉市政16年の中では様々な成果があり、高く評価している。新可燃ごみ処理施設は平成31年度中の稼働が予定され、多摩地域の自治体、一部事務組合に可燃ごみ処理のご支援も頂いており、行政運営に当たって他自治体や関係団体等との信頼関係はまさに欠かすことができず、今、重要な時期である。駅周辺のまちづくりは一体的な支援が非常に効果的で、全体的に効果を生み出すことで、今まで構築した財産を無駄にせず今後も都市基盤の更なる充実など市民の利便性の高い拠点整備を進めることが必要。行財政改革では人件費比率改善をはじめ様々な改革が進められ、持続可能な行政に向け更に引き続き推進する必要がある。これまでの取組や各行政施策を転換することは、今まで構築した財産を無意味なものにしてしまう。市政の安定継続を。



市長 安定した市政、そして信頼される市政が基本と考える。行政は継続性であり、今大きな市政の流れがある。これを大きく変えるわけにはいかない。信頼関係を引き継いでもらいたい。その他、被災時災害対策として、訓練の成果と反映、災害対策本部設置場所、外国人の母国語対応等を質問・提案しました。



市の災害対策本部が設置される市役所本庁舎

稲葉市長への最後の質問 「市政を総括する」

渡辺大三(リベラル保守)

(ア)財政問題について。大久保元市長から引き継いで16年が経った。経常収支比率が大きく改善したというには遠い。「陽は昇った」と言えるのか。(イ)人件費問題について。まだ改善の余地はあると思うが、市長はどのように振り返っているのか。(ウ)後継者は、五十嵐京子さん1名

だと理解しているのか。(エ)16年間の稲葉市政を100点満点で採点すると、自身は何点の採点をするのか。

市長 (ア)「陽は昇った」のかどうかは市民の判断になる。(イ)まだまだ改善しなければならぬ。他市並みにしていくことが必要である。(ウ)後継者は指名しない。後継者を育てることもし



前原町4・5丁目 東八道路南のココバス運行

露口哲治(小金井自民)

ココバスは、平成15年春の「北東部循環」に始まり、平成17年からは「貫井前原循環」「東町循環」「中町循環」の3路線を運行開始し、平成20年9月には、ココバス・ミニが前原町・中町坂下地域と駅とを結んだ。この時点で、市長が当初予定していた事業としては達成されていると評価できる。しかし、坂下住民からは、貫井前原循環の通学路問題、野川・七軒家循環の乗り残し問題、ルート変更や増便などの改善要望が出ている。(ア)路線の変更、早朝運行、増便や前原4・5丁目の東八道路南側住民からの誘致要望に対しての見解は。(イ)赤字路線が多いが、利用料金変更の考えは。(ウ)車内車体、バス停を利用して広告料収入の検討をしないか。



交通対策課長 (ア)北東部ではルートの一部変更及び運行時間延長を実施し、武蔵小金井駅前



交通広場の完成に合わせて南側3路線を駅前乗り入れた。前原町4・5丁目、東八道路南側地区は、市の考える交通不便地域ではない。(イ)運賃は、ルートや時間帯の問題等、総合的に今後判断する。(ウ)バスの車体変更により、窓の上にポスターが見やすく貼れる場所ができたので、運行業者等と調整したい。

三多摩で最も高い 国保税の引下げを

板倉真也(日本共産党)

①(ア)なぜ、小金井市は三多摩で一番、国保税額が高いのか。(イ)2014年度と同程度の歳入・歳出であれば、1人当たり9千円程度の国保税額の引下げが可能ではないか。(ウ)来年度、国保税を引き下げるべきでは。(エ)三多摩で一番高い国保税を引き下げるため、その他一般会計

繰入金を増額を行うべきでは。

保険年金課長 (ア)小金井市は26市平均より1人当たりの保険給付費は少ないが、前期高齢者交付金が少なく、国の調整交付金も少ない。(イ)見解は控えさせていただきます。平成27年度の執行状況では、調定額は前年度割れとなる状況。一方、保険給付費は前年度に比して伸びている状



況。被保険者数は減少しているも、前期高齢者数は増加していることなどが要因。(ウ)ぎりぎりまで検討を要したい。

稲葉市政の財政再建と 課題への更なる挑戦

宮下 誠(公明党)

(ア)稲葉市長就任時、前市長から引き継いだ革新市政の負の遺産、高い人件費比率、ないに等しい基金残高、そしてこうした危機的財政を多摩26市平均並みへ改善させた行革の取組等について、総括的な答弁を求めます。(イ)現在、人件費比率は多摩26市平均にようやく近づいたが、福祉会館等の老朽化した公共施設や下水道等の更新対応があり、襲い来る財政課題に対し果敢に挑戦すべきだ。目前の課題としては、職員の6人に1人が保育園に集中していることや窓口業務の民間委託が進まない実態がある。正規職員には正規職員にしかできない業務があるはずだ。

市長 (ア)市長に就任した当時、財政調整基金は70万円しかなかった。当市の財政再建は人件費からである。過去の45%を超えている人件費比率から、今の16%へ改善するまで40年かかった。こ



多くの人が訪れる市役所の窓口



の間の財政は、ほとんど事業費というより人件費に費やしたことになる。ごみ問題も大変だったが、多摩各市の信頼を得て乗り切れた。(イ)今後、市民参加、市民協働が進んでいくことではないかと思う。行政の守備範囲はどこなのか、正規職員でやるべきことはどの範囲なのかを選択していくことになる。

一般質問とは

議員が議案を審議・議決する以外に、市政全般にわたり、市長や行政機関などに対し、質問することができます。市が行う事務の状況や将来に対する方針などについての質問をし、報告や説明を求めることをいいます。



議会Q&A

- Q 一般質問はいつ行われるの?
A 原則3月、6月、9月、12月の年4回の定例会で行います。
Q 質問時間はどのくらい?
A 1人1回おおむね1時間以内です。
Q 傍聴はできるの?
A だれでも傍聴できますので、議会事務局で傍聴の手続をしてください。

お泊りデイの実態把握と特養の早期建設を

関根優司 (日本共産党)

(ア)介護報酬が今春引き下げられ、介護事業所の経営はますます大変になっている。特別養護老人ホームの建設が待望されているが、悪影響が出ないように願う。また、特別養護老人ホーム待機者が増える一方、空き家、運営者、パート職員を募集してフランチチャイブ方式でデイサー



ビスを行い、利用者がそのまま宿泊するという、いわゆる「お泊りデイ」が増え、利用者にもそこで働く労働者にも劣悪な状況となり、社会問題になっている。国は今春、この「お泊りデイ」の基準を示したが、市の実態把握と対処の現状はどうなっているか。(イ)「国有地を活用し特別養護老人ホーム建設を」と

いう趣旨の陳情書が採択されている。現状の進捗はどうなっているか。

介護福祉課長 (ア)市内で保険外の宿泊サービスを提供している通所介護事業所は6か所。事故問題等があれば事故報告書やケアマネ、利用者からの声で把握する。今後も基準など徹底していきたい。
市長 (イ)待機者が多くいる状況で、施設整備が必要だと痛感している。私も都や国と直接折衝している。今定例会で方向性が報告できればと考えている。



その後特別養護老人ホームを建設することが明らかにされた貫井北町公務員住宅跡地

新庁舎建設について問う

水上洋志 (日本共産党)

①市役所本庁舎の耐震結果と新庁舎建設について問う。(ア)耐震水準を満たしていない本庁舎の調査結果を受けて、新庁舎建設をどう考えているのか。(イ)稲葉市長が、武蔵小金井駅南口第2地区の再開発を成立させるために「駅前市役所計画」にこだわったことが、市庁舎建設を遅



らせてきた最大の問題ではないか。
企画財政部長 (ア)新庁舎建設には、既存施設の整理など課題がある。課題解決の期間の長短に応じて、本庁舎の耐震補強の要否など見定めていく。
市長 (イ)再開発か、それとも庁舎が必要かとなれば、再開発はやるべきと考えた。

②中期財政計画案について問う。(ア)待機児童の多さなどが、民生費の割合が多摩の中で最低という問題に表れている。再開発など大規模事業を見直して、市民生活を支援すべきではないか。(イ)特に待機児童問題は、対策を怠ってきたことが最大の問題ではないか。
市長 (ア)まちづくりも福祉の一環である。(イ)待機児童があつていいとは思っていない。保育園を増やしても追いつかなかつたことが事実だと思つた。



新庁舎建設が望まれる蛇の目ミシン工場跡地

子どもも一緒に学校トイレのエコ清掃を

田頭祐子 (生活者ネット)

小金井市の環境行動指針には「洗剤は極力石けんを使用し、合成洗剤は必要以上に使用しない」とある。(ア)1年生の生活科の授業で、大手石鹸企業の出張授業があった。市の指針と乖離はないか、など保護者から不安の声があった。授業では自社製品が使われたのか。環境に配慮



する企業等に授業をお願いしてどうか。(イ)小中学校のトイレ清掃は、業者委託で年に48回の。トイレには塩酸と合成界面活性剤入りの洗浄剤などが置かれていて、これらは誰が購入したものか。(ウ)保護者ボランティアにより、石けんを使ったトイレ清掃を始めた学校が市内にある。また、他市では子ども一

緒にトイレ清掃ボランティアに取り組み、「きれいに使おう」との意識が高まり「排泄を恥ずかしがる」意識が低下したとのこと。市でも検討してはどうか。

学校教育部長

(ア)食器洗い学習で使われた洗剤は、環境に配慮した生分解性のものとメーカーに確認した。指針との乖離はないと判断している。(イ)業者が

用意し保管している。(ウ)保護者の取組は、各学校の実情に応じ、校長と保護者が協議し実施するもの。教育委員会として実施する考えは、現在持っていない。



保護者と児童がトイレ清掃に取り組み東久留米市立第三小学校

委員会の視察先とテーマ

資源循環型社会推進調査特別委員会

- 1月18日～19日
▷北河内4市リサイクル施設組合(ごみ処理施設について)
▷静岡県磐田市(ごみ処理施設について)

行財政改革調査特別委員会

- 1月25日～26日
▷大阪府池田市(窓口業務のアウトソーシングについて)
▷兵庫県明石市(人物重視の新卒採用制度について)

議会運営委員会

- 1月28日～29日
▷岐阜県可児市(議会改革の取組について)
▷滋賀県大津市(政策検討会議・議会ミッションロードマップについて)

総務企画委員会

- 2月4日～5日
▷京都府綾部市(機能別消防団及びハイパー消防団について)
▷大阪府箕面市(シティプロモーションについて)

厚生文教委員会

- 2月9日～10日
▷岡山県総社市(「障害者千人雇用」政策)
▷大阪府大阪市住吉区(みんなの学校(地域に開かれた学校))

※ 過去の行政視察報告書は、議会図書室(本庁舎4階)または情報公開コーナー(第二庁舎6階)で閲覧できます。
※ このほか、平成27年11月20日～22日に、三宅村へ友好都市交流視察を行いました。

視覚に障がいのある方へ

「声の議会だより」をご利用ください

視覚に障がいのある方を対象に、カセットテープやイメージCDに市議会だよりの内容を音声で収録した「声の議会だより」をお届けしています。

ご家族やお知り合いで視覚に障がいのある方がいましたら、ご利用をお勧めください。ご希望の方は、電話で議会事務局へお申し込みください。

なお、収録はボランティアグループの「小金井市対面朗読の会」のご協力をいただいています。

【対象】

原則として障害者手帳1～6級の視覚障がいのある方(対象者以外でも、図書館本館でご利用いただけます)

【申込】

議会事務局(市役所本庁舎4階)
☎042-387-9947

福祉会館閉鎖に伴う 学校施設利用について

林 倫子 (生活者ネット)

2016年3月31日をもって福祉会館が閉鎖になる。市民が活動する場として学校施設を利用したいという声は上がっており、現時点でも、会議室や校庭使用の受付は学校が行っている。その事務で通常業務に支障は出ていないのか。(イ)学校施設の市民への開放拡大と

予約の簡素化を図らないか。

断で、教育、学習等に支障のない限り使用させることができる。増えていると確認している。しかし、事務の軽減を求める声は上がっていない。(イ)児童・生徒の安全確保のための管理体制の強化、施設の改修、利用団体等



の調整や緊急事態への対応が課題である。さらに、特別支援教室の完全実施も予定されており、教室の確保が難しい。学校施設の利用は大変厳しい。

生涯学習部長 (ア)生涯学習課

の事業では、利用受付を課職員と利用者で行っている。学校の負担は軽減している。その他、今後も地下水を飲料水として利用し続けられるよう水循環マスタープラン改定に際して情報公開を都に求めることと、雨水浸透施設の費用的事効果を質問しました。



今後、ますます市民の要望が増す学校施設の開放。早急に利用環境を整えるべき

第二庁舎の解消と 新庁舎建設

百瀬和浩 (リベラル保守)

第二庁舎は庁舎としての耐震性能を持っていない。平成26年第3回定例会で購入を提案された際に、どのようにして耐震性能を確保する考えであったのか。あるいは考えはなかったのか。また、庁舎の利用終了後は図書館本館や公民館に利用する構想も明らかにされたが、設計



荷重条件から困難である。これらへの対応をどう考えていたのか。構造計算書を十分検証して購入議案を提案されるべきである。

企画財政部長 ご指摘どおり建築当時は新耐震設計に準拠した建築であった。購入によりトータルコストを的確に把握し、安定的な財政運営に資するよう



庁舎としての耐震性能を有していない第二庁舎

新福祉会館建設計画 について市の見解を問う

森戸洋子 (日本共産党)

福祉会館の建設について。(ア)仮移転に伴う代替施設については、公共住宅の集会施設の利用等を提案してきたが、検討状況は。(イ)今後、公民館で青年学級などを円滑に行えるのか。(ウ)公民館の将来計画の検討状況は。

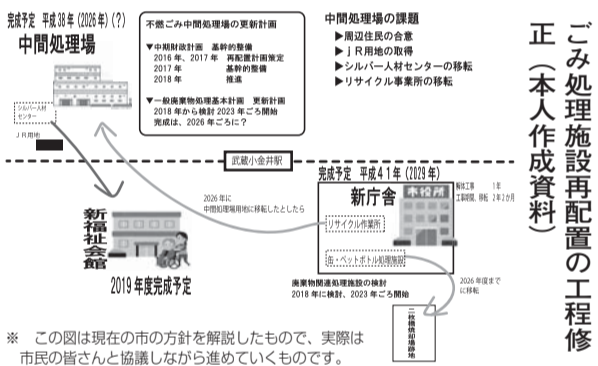
後調整していく。

公民館長 (イ)可能な限り確保したい。青年学級は、学校施設で開催する方向で調整中。(ウ)公民館運営審議会と協議し、1月中長期計画案を諮問する予定。

福祉保健部長 (ア)新たな活動場所の確保が必要であれば、今



計画では、廃棄物処理施設配置計画を2016・17年度で検討すること。市役所建設予定地内にあるリサイクル事業所、廃棄物関連処理施設の移転計画、中間処理場の計画がなく、建設予定地内での建設計画は白紙の状態。新福祉会館を市役所と一緒に建設する案は困難では。

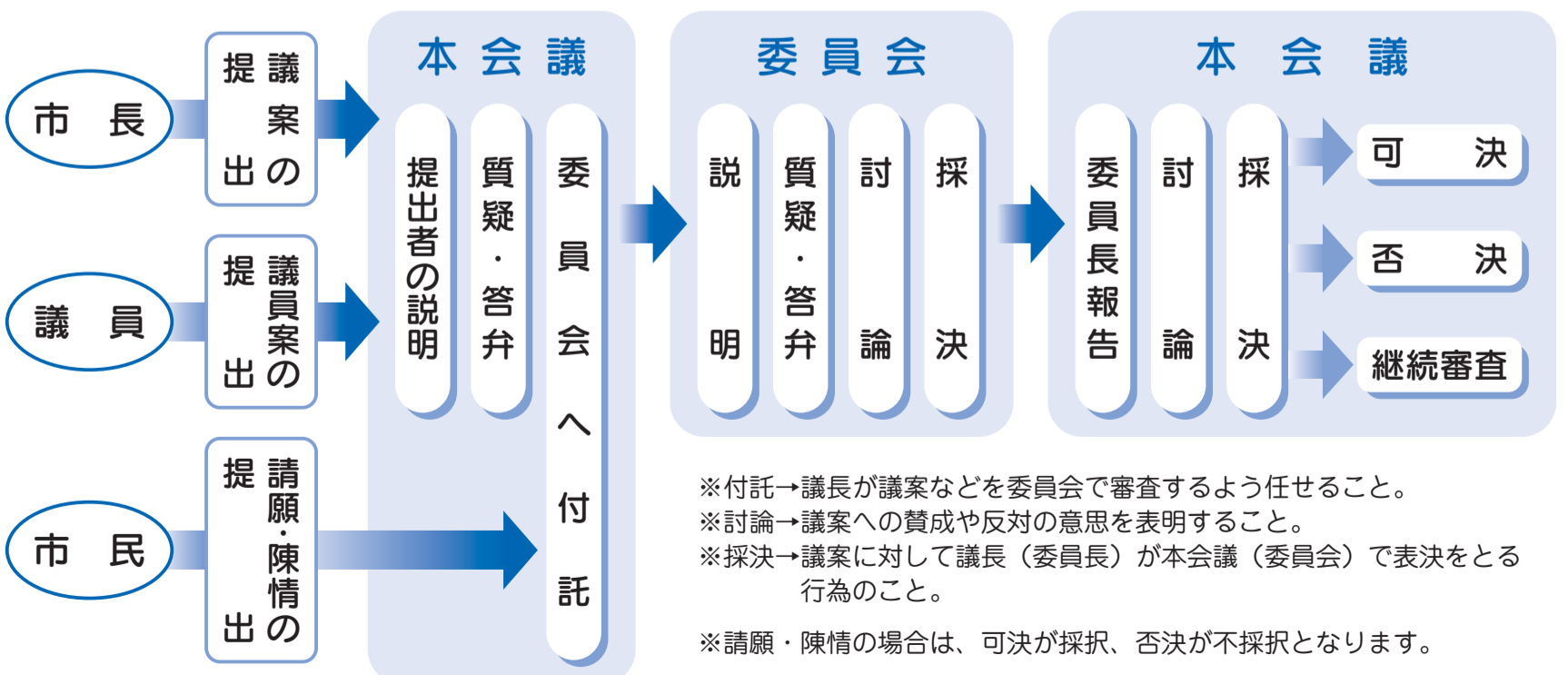


※ この図は現在の市の方針を解説したもので、実際は市民の皆さんと協議しながら進めていくものです。

議会 Q & A

Q 議会はどのような流れで進むのですか？

A 本会議は年4回(3月、6月、9月、12月)定期的に開かれる定例会と、必要に応じて開かれる臨時会があり、原則、市長が招集します。定例会・臨時会とも会期が定められ、本会議や委員会を開き、議案などを審議・審査し、議会としての意思を決定します。定例会は約1か月間開かれます。市長や議員から提出される議案や議員案、市民から提出される請願・陳情書は、おおむね以下のような流れで審議・審査されます。



※付託→議長が議案などを委員会で審査するよう任せること。
※討論→議案への賛成や反対の意思を表明すること。
※採決→議案に対して議長(委員長)が本会議(委員会)で表決をとる行為のこと。
※請願・陳情の場合は、可決が採択、否決が不採択となります。

議会基本条例策定に向けて 進捗状況をお知らせします

議会基本条例は、議会の最高規範となるもので、市議会として活動原則、市民や市長との関係等を明文化するなど、議会のあるべき姿や議会運営に関する基本事項を定めるものです。

策定に当たっては、平成23年度から、公開の場である議会運営委員会で議論を重ね、条例の素案たたき台を作成しました。

平成25年の市議会議員改選後、全会派の議員が参加する、公開の「議会基本条例策定代表者会議」を設置し、条例の素案たたき台をもとに協議を重ね、小金井市議会基本条例(案)を作成しました。

その後、平成27年8月29日(9月28日)にパブリックコメントを実施するとともに、8月29日と9月6日に市民説明会を実施しました。

パブリックコメントでは14

人・51件、市民説明会では23枚・35件のご意見をいただき、寄せられたご意見に対する検討結果を12月に公表しました。

ご意見と検討結果は議会事務局(市役所本庁舎4階)でご覧いただけるほか、市ホームページで公開しています。貴重なご意見を多数お寄せいただきまして、ありがとうございます。

現在、平成28年第1回市議会定例会における条例の策定を目指し、細部の最終調整を行っています。



公開・議員研修会

川崎平右衛門と多摩・小金井

名勝小金井(サクラ)を生んだ、武蔵野新田開発の功労者である川崎平右衛門と多摩・小金井の関係について、歴史的な見地から説明していただき、理解を深めます。

この研修会は、市民の方にも公開で行います。申し込み不要ですので、参加を希望する方は当日直接会場へお越し

ください。

とき 2月15日(月) 午後2時~4時

ところ 市役所本庁舎3階第一会議室

講師 馬場治子さん(元・府中市郷土の森博物館学芸員)

定員 40人(当日先着順)

参加費 無料

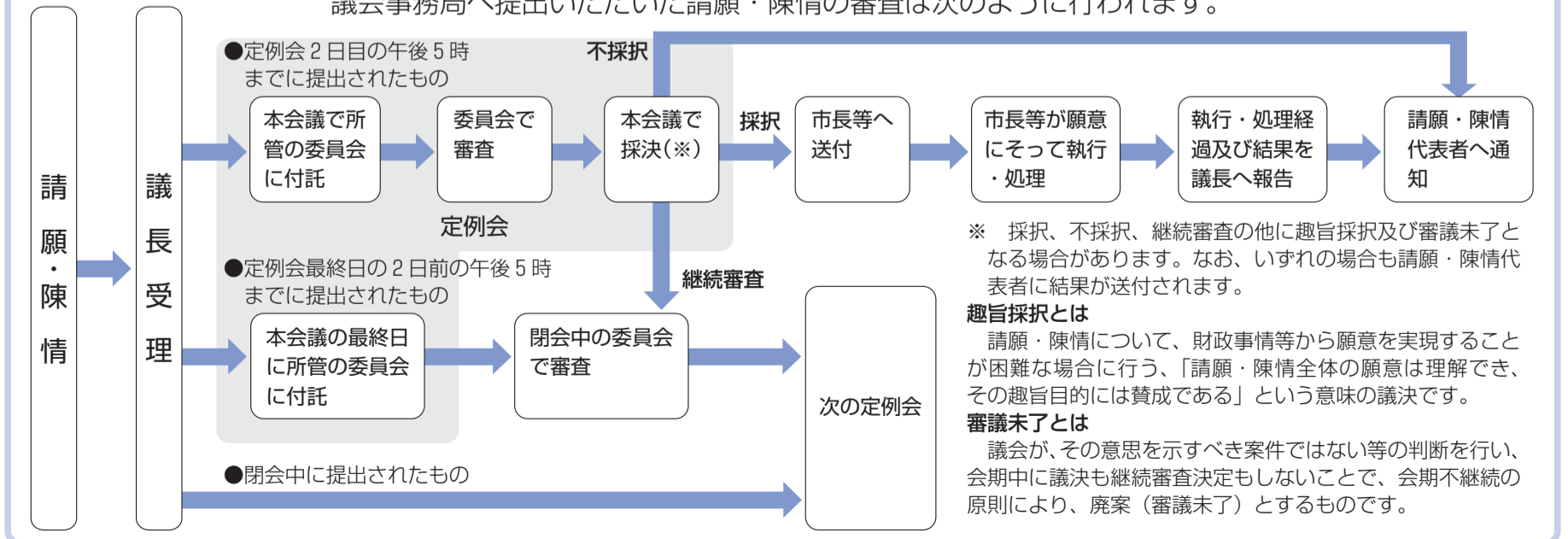
請願・陳情の審議結果

付託先略称 総：総務企画委員会 厚：厚生文教委員会
建：建設環境委員会 議：議会運営委員会

件名	要旨	○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長(原則、採決には加わらず)														議決結果								
		自中	自湯	自中	自遠	共水	共関	共板	共森	公渡	公小	公紀	公宮	民岸	民百		リ渡	リ田	ネ林	ネ篠	改篠	緑片	会齋	小露
小金井市道路行政の正常化を求める陳情書(1)	公共用地境界図抄本の証明文について、「道路区域の境界線図のとおり確認済み」へと変更すること、「図面番号」と「道路区域点」の名称を用いることが確認されたが、履行されていない。速やかな実施を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
骨髄移植ドナー支援に関する陳情書	都が今年度追加した「医療保健政策市区町村包括補助事業」の中の「骨髄移植支援事業」に当たる、白血病などの血液疾患等における骨髄移植ドナーになった方への支援について、市の制度の策定を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
調布飛行場墜落事故に関して小金井市の対応状況について説明していただくことを求める陳情書	①事故発生時の市長の対応、②都港湾局、空港事務所からの連絡の時期・内容、③慣熟飛行、④着陸高度の現状と対応策、⑤他市等への働きかけ、⑥課題認識と次期市長への引継ぎについて、確認することを求める。	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	採択
議会基本条例制定に際し「文書質問制度」を導入することの調査を求める陳情書	市議会議員の行政への監視機能を向上するため、東京都議会、日光市議会等、先進自治体議会に先例のある「文書質問制度」を議会基本条例に規定することについて調査することを求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	不採択	
公立図書館における青少年の健全たる育成等を阻害する図書書の排除を求める陳情書	小金井市立図書館における青少年の健全たる育成等を阻害する図書の排除のため、市の例規を改正すること、また、関係法令の改正について、国と東京都に対し意見書を提出することを求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択	
稲葉市政16年間の第三者検証機関の設置を求める陳情書	稲葉市政16年間の課題を検証する第三者機関について、稲葉市長自らが設置し、次期市長に引き継ぐよう稲葉市長に求めることを求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択	
稲葉市長による市議所属政党支部への多額な現金供与について、事実関係を明らかにすることを求める陳情書	今任期における市長、市長の後援会・確認団体による政党支部・政治団体等への現金供与の実態、迂回献金の事実の有無の確認、公職選挙法等や議員の政治倫理条例に対する見解を明らかにすること等を求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	不採択	

請願・陳情の審査の流れ

議会事務局へ提出いただいた請願・陳情の審査は次のように行われます。



小金井市はGPN会員として印刷のグリーン購入に取り組んでいます

この議会報は再生紙を使用しています。*ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。この印刷物は、植物性インキ(石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ)を使用しています。

委員会等の構成の変更

議員の補欠選挙に伴い、1月22日の臨時会において、一部の委員会等の構成を変更しました。変更のあった委員会等における新たな委員は以下のとおりです。

市議会の委員会の委員

◎委員長 ○副委員長

名称	氏名					
総務企画委員	◎関根 優司 水上 洋志	○鈴木 成夫 宮下 誠	湯沢 綾子 渡辺 大三	片山 薫	遠藤百合子	
厚生文教委員	◎渡辺ふき子 小林 正樹	○岸田 正義 中根 三枝	坂井えつ子 森戸 洋子	田頭 祐子	中山 克己	
建設環境委員	◎露口 哲治 紀 由紀子	○百瀬 和浩 篠原ひろし	吹春やすたか 板倉 真也	林 倫子	斎藤 康夫	
議会運営委員	◎森戸 洋子 中山 克己	○小林 正樹 露口 哲治	鈴木 成夫 中根 三枝	片山 薫 渡辺 大三	林 倫子	
行財政改革 調査特別委員	◎遠藤百合子 中山 克己 渡辺 大三	○田頭 祐子 渡辺ふき子 板倉 真也	吹春やすたか 小林 正樹	岸田 正義 関根 優司	坂井えつ子 露口 哲治	

一部事務組合議会議員

名称	氏名
東京たま広域資源循環 組合議会議員	露口 哲治

市長や教育委員会等が設置している各種審議会等の委員

名称	氏名
農業委員会委員	湯沢 綾子 渡辺ふき子 森戸 洋子
三多摩上下水及び道路 建設促進協議会委員	(第2委員会) 吹春やすたか
国民健康保険 運営協議会委員	坂井えつ子 田頭 祐子 水上 洋志 宮下 誠
都市計画審議会委員	吹春やすたか 湯沢 綾子 岸田 正義 坂井えつ子 林 倫子 斎藤 康夫 百瀬 和浩 宮下 誠 板倉 真也

その他の委員

◎座長 ○副座長

名称	氏名
広報協議会委員	◎板倉 真也 ○湯沢 綾子 岸田 正義 坂井えつ子 田頭 祐子 遠藤百合子 小林 正樹 斎藤 康夫 水上 洋志 露口 哲治 宮下 誠 渡辺 大三

市議会議員 補欠選挙に 伴う議会人事

新議員の紹介



ふきはる
吹春やすたか

当選 1回
党派 自由民主党
役職 建設環境委員
行財政改革調査特別委員
三多摩上下水及び道路建
設促進協議会委員
都市計画審議会委員



さかい こ
坂井えつ子

当選 1回
党派 無所属
役職 厚生文教委員
行財政改革調査特別委員
国民健康保険運営協議会
委員
都市計画審議会委員
広報協議会委員

小金井市議会議員名簿

議席番号	氏名	所属会派	住 所	電話番号・FAX番号
1	吹春 やすたか	自由民主党小金井市議団	貫井北町1-14-6 ハウスセルレア201	☎080-8116-0866 FAX 042-306-6680
2	湯 沢 綾 子	自由民主党小金井市議団	東町4-6-17 ソレイユ201	☎042-316-5504 FAX 042-316-5525
3	鈴 木 成 夫	小金井市議会民主党	貫井南町1-26-21	☎042-386-1356 FAX 042-301-9886
4	岸 田 正 義	小金井市議会民主党	桜町1-10-24	☎FAX 042-383-1819
5	坂 井 えつ子	緑・市民自治こがねい	桜町1-13-6	☎090-1796-7652
6	片 山 薫	緑・市民自治こがねい	前原町5-16-6	☎042-387-7035
7	田 頭 祐 子	生活者ネットワーク	貫井北町5-23-7	☎FAX 042-326-3132
8	林 倫 子	生活者ネットワーク	中町3-20-13-103 ルイシャトレ武蔵小金井	☎FAX 042-388-5882
9	中 山 克 己	自由民主党小金井市議団	本町2-17-31	☎090-2537-9717 FAX 042-301-3131
10	遠 藤 百 合子	自由民主党小金井市議団	貫井南町4-13-9	☎FAX 042-384-3401
11	渡 辺 ふき子	小金井市議会公明党	緑町1-5-8	☎FAX 042-304-9568
12	小 林 正 樹	小金井市議会公明党	桜町1-9-29 ベルビラージュ桜町101	☎FAX 042-387-7769
13	斎 藤 康 夫	こがねい市民会議	前原町5-20-32 (16)	☎FAX 042-382-0911
14	百 瀬 和 浩	リベラル保守の会	東町4-23-1-101 プラザ新小金井	☎042-385-5978
15	水 上 洋 志	日本共産党小金井市議団	東町5-17-9	☎FAX 042-301-9521
16	関 根 優 司	日本共産党小金井市議団	貫井北町3-33-3-207 ルミナス武蔵小金井	☎FAX 042-388-8502
17	露 口 哲 治	小金井自由民主	前原町2-24-6	☎090-8506-3733 FAX 042-304-3733
18	中 根 三 枝	自由民主党小金井市議団	本町5-4-34	☎042-384-4106 FAX 042-384-4128
19	紀 由 紀子	小金井市議会公明党	中町3-23-19	☎FAX 042-384-3812
20	宮 下 誠	小金井市議会公明党	貫井南町4-18-3	☎FAX 042-301-9882
21	篠 原 ひろし	改革連合	本町4-13-9	☎042-385-1224
22	渡 辺 大 三	リベラル保守の会	中町3-25-10 第二畑山コーポ201	☎090-3345-6929 FAX 042-381-5074
23	板 倉 真 也	日本共産党小金井市議団	貫井南町4-20-31	☎FAX 042-386-0404
24	森 戸 洋 子	日本共産党小金井市議団	東町5-14-10	☎FAX 042-383-0514

次の定例会は平成28年2月22日(月)開会予定です。